

平成三〇年度  
資料展

# 天童家三代

頼澄・重頼・頼長の時代

八月一六日(木)

（九月二四日）  
(月)

多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室〔多賀城市文化センター内〕

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日（祝日は除く）・祝日の翌日

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27-1

☎022-368-0134

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>



**展示の趣旨**

天童氏は、戦国時代、出羽国天童城の城主でしたが、のち伊達政宗の家臣となり、江戸時代には宮城郡八幡村の領主としてこの地を治めました。仙台藩において、準一家という重臣の地位にあった天童家ですが、初代頼澄から四代定義までは嫡子がなく、養子に嗣せることで、家を存続し、家格にふさわしい役目を遂行し続けることができました。

本展示は、天童家の基礎が築かれる重要な時期、30年に亘って養子により家を継承しなければならぬという困難な時代をいかに乗り越えてきたか、残された資料から、天童家初期のあゆみについて紹介するものです。



**天童古城**

天童頼久（頼澄）の居城があったところ。天正10年、最上義光に攻められて落城し、頼久は陸奥国に逃れます（天童市）。



**清水城跡**

豊臣秀吉の奥羽仕置で利府を去った留守政景の居城。二代目重頼は政景の二男としてこの城で誕生しました（一関市）。



**伊達政宗より天童殿宛書状**

政宗の花押の特徴から天正17年のもので、天童頼澄が政宗の家臣となった時期を示す資料。



**涌谷城跡**

仙台藩一門涌谷伊達氏の居館。天童頼長（伊達宗重）は伊達定宗の二男として誕生しました（涌谷町）。



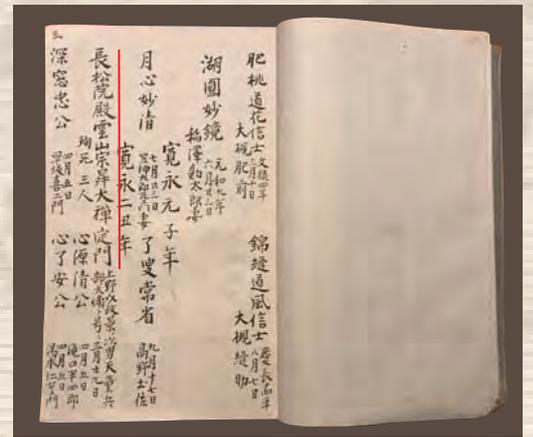
**加瀬沼**

天童頼長が灌漑用のため池として築造または改修したと伝えられています（多賀城市、塩竈市、利府町）。



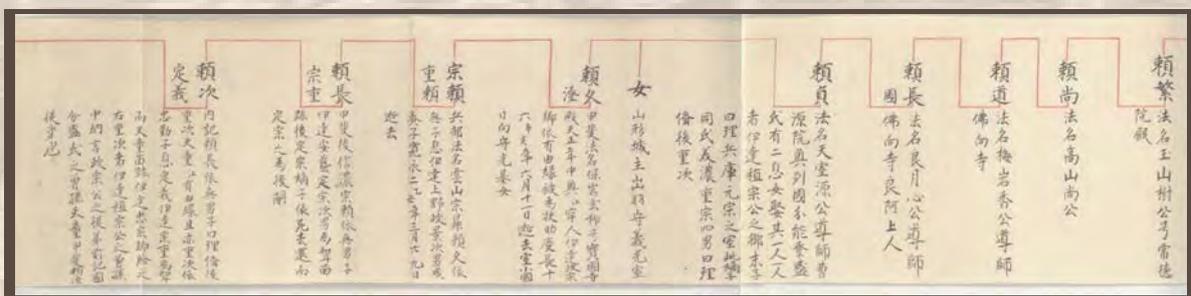
**伊達宗重（天童頼長）**

三代頼長は、兄の死で涌谷伊達家に戻りますが、八幡村では領内の開発を進めました（涌谷町見龍廟）。



**増長寺過去帳**

増長寺は留守氏ゆかりの寺。鎌倉時代に宮城郡利府に創建され、江戸時代、水沢伊達家初代宗利が水沢に移しました。重頼の法名が確認できます（奥州市増長寺所蔵）。



天童氏系図

仙台藩準一家天童氏初代頼澄、二代重頼、三代頼長の系譜がたどれる系図。